

平成 23 年度若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム (ITP)
「校風をつなぐ女性科学者の育成」-第二のマリー・キュリーをめざせ- 派遣学生募集要項

お茶の水女子大学は、国際的な女性科学者の育成を目標に、平成 20 年度より日本学術振興会 (JSPS) の助成を受け「若手インターナショナル・トレーニング・プログラム (ITP) 校風をつなぐ女性科学者の育成-第二のマリー・キュリーをめざせ-」と題する海外留学支援事業を実施しています。このたび本事業による平成 23 年度の派遣学生を以下の要領で募集します。

1. 海外パートナー機関及び募集内容

1) 短期研修留学 (1 セメスターコース) (主として、博士前期課程学生)

◆研修先：バーギシュ・ブッパタル大学 (ドイツ)

採用予定人数：14 名程度

研修期間：平成 22 年 10 月上旬～22 年 2 月上旬 (予定)

研修内容：専門科目の講義、実習、英語プレゼンテーション。教授言語は英語です。

研修科目：物理、化学、科学におけるコンピューターシミュレーション、数理科学の分野から選択します。

◆研修先：ブレーメン応用科学大学 (ドイツ)

採用予定人数：3 名程度

研修期間：平成 22 年 10 月上旬～22 年 2 月上旬 (予定)

研修内容：専門科目の講義、実習、英語プレゼンテーション。教授言語は英語です。

研修科目：情報科学分野

2) 研究留学 (主として、博士後期課程学生)

留学先：下表のパートナー機関。ただし、応募前に、指導教員を通じて、受け入れ研究者の了承を得ること。

留学期間：60 日以上 1 年以内 (平成 24 年 3 月までに留学を開始し、平成 25 年 2 月までに帰国すること)

留学目的：実験、研究活動、論文作成など

海外パートナー機関	国名	派遣人員
(1) ストラスブール大学 (旧称：ルイ・パスツール大学)	フランス	若干名
(2) ウィーン工科大学	オーストリア	
(3) バーギシュ・ブッパタル大学	ドイツ	
(4) パリ市立工業物理化学高等専門大学 (ESPCI)	フランス	
(5) モンペリエ第二大学	フランス	
(6) ストラスクライド大学	イギリス	
(7) フランス国立海洋開発研究所 (IFREMER)	フランス	
(8) キュリー研究所	フランス	
(9) ジョセフ・ステファン研究所	スロベニア	
(10) パリ第六大学	ドイツ	
(11) ブレーメン応用科学大学	ドイツ	
(12) ボルドー第一大学	フランス	

2. 申請資格

以下の条件をすべて満たすこととします。

- (1) ・平成23年度に、人間文化創成科学研究科理学専攻に入学または在籍見込みの者。
・留学期間中に、人間文化創成科学研究科理学専攻に在学する者。
・留学期間終了後に本学に戻り学業を継続または学位を取得する者。
・留学期間中に休学することは認められません。
- (2) 留学先の大学において、その専門とする学問分野について研究を行うに十分な当該国等の言語の能力を有すること。
- (3) 申請に際しては、指導教員から了承が得られていること。

3. 特記事項

- (1) お茶の水女子大学に授業料を納入することにより、留学先の検定料、入学料及び授業料が免除れます。
- (2) 渡航費用、滞在費、保険加入料などに関し、大学からの支援が受けられます。
(詳細は「7 助成内容」を参照。)
- (3) 研修留学においては、希望者に単位認定を行います(ただし、博士前期課程1年生のみ)。
- (4) 大学院共通科目「英語アカデミック・ライティング(理系)」(前期水曜1・2時限)または6月～7月に開講の英語研修の講義(金曜1・2時限)のいずれかの受講を必須とします。
- (5) 事前研修(安全管理)、出発前の研究発表会での英語による研究発表、オリエンテーション(3～5回)への参加、派遣先における事業評価の会議での英語による研究発表、中間報告書と帰国報告書の提出、及び帰国報告会での発表を義務とします。

4. 申請書類

- (1) 申請書(別紙様式)(TOEIC、TOEFLなどのスコア結果の写しがある場合は添付すること)
- (2) 留学計画書(別紙様式:A4日本語1枚)
留学の目的、志望理由、留学中に達成したい目標及び留学後の見通し(大学院修了後の進路を含む。)
- (3) 大学入学後の全課程にかかる成績証明書。編入学生は、前所属機関(高専、大学等)の成績証明書を含む。
- (4) 指導教員の推薦書(別紙様式)
- (5) 保証人承諾書(別紙様式)
- (6) 受け入れ先の内諾書(様式自由。E-メール可。)(研究留学のみ)
- (7) 研究計画書(別紙様式:A4日本語1枚)受け入れ先との連絡状況を含むこと(研究留学のみ)
- (8) 健康診断書(本学保健管理センター発行のもの。5月中旬発行予定。)

5. 申請手続

- (1) 前項4. に挙げた申請書類を、下記期限までに国際交流チーム国際交流係(学生センター棟2階)に提出して下さい。ただし、(1)については、電子ファイル(Word)についてもメールに添付して提出してください。
- (2) 申請期間: 平成23年4月11日(月)～平成23年4月28日(金)正午【締切厳守】
健康診断書についてのみ5月27日(金)提出締切とします。

6. 選考

- (1) 選考は一次審査(書類選考)及び二次審査(面接、プレゼンテーション及び英語筆記試験)とし、若手研究者 ITP 選考委員会において行います。
なお、プレゼンテーションは、研修留学応募者:5分(日本語)、研究留学:7分(英語)とします。
- (2) 二次審査:5月12日(木)午後。
時間・場所は大学公式メールアドレス(g学籍番号@edu.cc.ocha.ac.jp)宛に通知します。
- (3) 合否通知:5月下旬を予定。大学公式メールアドレス宛に通知します。

(4) 選考基準（評価の観点）は、以下のとおりとします。

- ①学業成績
- ②外国語能力:派遣先大学にて講義、演習及び研究指導を受けるのに必要な語学力を有していること。
- ③留学の目的及び計画が明確であること。
- ④留学後の進路・就職に対する計画・意識が明瞭であること。
- ⑤本学の代表としての適性・資質が備わっていること。
- ⑥派遣国及び派遣先大学での学業及び生活に必要な適応力があること。

7. 助成内容

(1) 派遣先大学までの往復航空賃、滞在費、ビザ取得に係る経費、旅行保険加入料（日本国内で加入する大学指定の保険会社の保障プランに限る）を大学が助成します。

※滞在費の支援額は現地の住居費や物価、留学時の為替レート等を勘案し決定します。

昨年度の例：研修留学は月額8万円。 研究留学は10万円～15万円。

※航空運賃・滞在費等は旅費申請手続き完了後に、本人指定の銀行口座に振り込まれます。

航空運賃は一旦本人の立替払いが必要となります。

※年度をまたぐ留学の滞在費の支払いについては、年度毎の分割支給となります。

8. その他

- ・平成23年度募集説明会及び平成22年度派遣学生による帰国報告会については、本学ホームページにて周知予定です。
- ・研究留学に係るビザ申請は研究留学生本人が行います。
- ・往復航空券の手配は、研究留学については本人、研修留学については大学が行います。なお、航空運賃の支払いは派遣学生本人が立て替え、後日大学が学生の指定口座に払い戻します。
昨年例：約15万円（バーギシェ・ブッパタール研修留学の場合）
- ・海外旅行保険加入手続きは、原則として大学が一括して行います。

9. 申請及び照会先

国際交流チーム国際交流係（学生センター棟2階）

担当：井神、具島、佐藤

TEL:03-5978-5538

Email アドレス：wakateitp@cc.ocha.ac.jp

（申請書提出の場合、件名は「ITP 申請書（氏名）」と明記。）

本事業 URL：<http://f001.cc.ocha.ac.jp/~itp/>